

どう変える！

容器包装リサイクルの仕組み

今年度は容器包装リサイクル法の見直しが行われる年とされています。現在大詰めの段階を迎えていますが、この法律に関しては、消費者、市町村、事業者の役割分担の「しくみ」について、様々な課題があることが以前より指摘されてきました。実際、自治体の役割となっている収集・選別・圧縮・保管の事業について、その経費がかさみ、自治体財政の重い負担となっています。全国市長会、全国町村会、特別区長会など全国の自治体からも、「拡大生産者責任の原則に基づき、事業者責任の強化・明確化を図るとともに、都市自治体と事業者等との役割分担及び費用負担を適切に見直すこと」の要望が出されています。

こうした状況下、「容器包装の3Rを進める全国ネットワーク」では、全国各地で容り法の見直し学習会を開催し、多くの声を国に届けるための活動を行っています。どう改正すれば全体のシステムが効率化し、環境負荷や社会的コストを削減できるのか、この機会に容り法について一緒に学ぶ機会をもちませんか。

皆様のご参加をお待ちしております。

日	時：2014年4月27日（日）午後1時30分～4時
場	所：甲府市南公民館2階実習室（甲府市下今井町15番地）
講	師：庄子真憲氏（環境省リサイクル推進室室長） 中井八千代氏（容器包装の3Rを進める全国ネットワーク副運営委員長）
共	催：容器包装の3Rを進める全国ネットワーク NPO法人スペースふう（4月2日現在）
後	援：NPO法人みどりの学校、やまなしエコネットワーク

お問い合わせ：NPO法人スペースふう TEL：0556-22-1150